

審議会等会議録

審議会等の名称	令和4年度第4回山口市環境基本計画策定部会会議録
開催日時	令和4年11月24日（木曜日）10:00～12:00
開催場所	山口市不燃物中間処理センター 2階会議室
公開・部分公開の区分	公開
出席者	今村委員、坂本委員、樋口委員、福代委員
欠席者	豊田委員
事務局	環境政策課 江村課長、今谷主幹、谷口主幹、長尾副主幹、山本主任主事、児玉主事
議題	1. 開会 2. 議事 （1）山口市環境基本計画中間見直し（案）について （2）山口市環境基本計画中間見直しに係る答申（案）について （3）今後のスケジュールについて 3. その他
内容	次第に沿って以下のとおり進められた。 <事務局> 配布資料の確認 【課長挨拶】 <部会長> 会議内容について原則公開とし、議事録についても公表させていただくことを提案→了承 （1）山口市環境基本計画中間見直し（案）について <部会長> 第2回山口市環境審議会へ行った中間報告の内容を説明 <事務局> 資料に基づき説明 以下、各委員及び事務局の発言要旨

<部会長>

環境目標3のところを説明いただきましたが、環境基本計画自体に脱炭素先行地域の話は記載されているのでしょうか。

<事務局>

プロジェクト事業のところに入れております。

<部会長>

直接は書かれないのですか。ゼロカーボンシティ宣言については直接書いてありますが、今回せっきく先行地域に選ばれたということも、どこかに入れたほうがいいのではないかと思います、難しいでしょうか。

<事務局>

掲載する方向で、検討します。

<部会長>

はい。よろしくお願いします。

<委員>

脱炭素先行地域にせっきく選定されて、計画に入れておかなかつたら、市民は知るすべがない。必ず入れてください。

先行地域の計画を出されて、それが採択されたので、最低限それは入れておかないと、おかしいと思います。

<委員>

10ページの環境目標のところ、安心・安全という言葉がやたら出てきて、目標がぼやけているように感じます。

例えば、環境目標1は「快適な安心」というようなもので、目標3のほうは「安全」とか、そういうふうの特化しないと、どちらも同じようなことを言っているような感じがして、やたら「安心・安全」という言葉が目につくなと思ったのが1つ、「未来の子ども達」というのは、今の子どもが大人になって、これから生まれてくる子ども達が安心してという意味なのか。その辺が少し詳しく聞きたいなと思っています。そうではなくて、今の子ども達が将来、大人になって社会に出て、家族をつくって、生活していくというところも大事な、この未来の子ども達という意味を教えてほしいと思いました。

<事務局>

はい。御指摘のとおりでございまして、まず、現在の人たちというのは当然の事ということで、今回、計画期間が中長期にわたるものもございまして、特に、環境目標として「自然と共生し未来につなげる」というものもございまして、環境目標3として、脱炭素先行地域の取組も、2030年度までの取組ということで、そういった未来には、これからの子ども達に向けてのメッセージも込めてこうした文言にさせていただきました。もともとの計画の言葉も踏襲させていただいたということもございまして。

<委員>

前の計画にもあったということですね。わかりました。

<事務局>

意図としては、今取りかかっていかないと未来につながらない。当然今の人たちのためにもやっていくけれども、今、やっていかないとというところで特に、未来の子ども達がというのは残していきたいというところでおいております。

あと、安全安心なというところですが、ある程度現行の計画のものを踏襲するというところを大前提に置いておまして、これまでの環境目標1から4はそのままにするというところもあります。

今回ここを変えるというのは難しいですが、次回の計画見直しの中ではそういったところもしっかり、検討していきたいと思っております。

<部会長>

ほかにいかがでしょうか。

<事務局>

あと、道の駅の農産物売上高、こちらを継続してもいいのではないかと、いうところですね。どのように思われますでしょうか。

事務局としては、市の農産物売上高というところで、売上高が上がっていけば地産地消が進んでいるというような、結果として、環境基本計画にかかる農林業の振興と関係してくるところもありますが、どう思われますか。

<委員>

状況がよく分からないので、お聞きしたいのですが、道の駅の売上というのが、今のお話だと、地産地消の観点ということですね。

<事務局>

そうですね。

<委員>

どういう方が購入されているのでしょうか。

<事務局>

市街のお客様もちろん購入されていると思いますが、地元の方も購入されていると思います。そうした中で、地場でつくられたものを、そこで売ってというところの視点で、こうした指標を置いております。

<委員>

スーパーマーケットでも、どここの誰々さんが生産されたというのがあると思います。それはそれで地産地消になると思うのですが。

確かに、道の駅は規模が大きいのでそこでの購入が地産地消の指標になるというのであれば、それはそれでいいとは思いますが。

<事務局>

参考指標みたいな感じであると思います。売上高がどんどん伸びたから、全部が地産地消でという指標になるかといったらそれは少し違うとは思いますが、いわゆる参考的な指標としておいている感じではあります。

<委員>

例えば、学校給食に地元の食材を利用するとか、そういうのであれば、地元のものというように実際、目に見える形で、評価できるようなものがあると分かりやすいかなと思います。

<部会長>

本当に地産地消になっているかどうかという話ですよ。こちらを指標にするのであれば結構綿密な計算が必要だと思います。

<事務局>

そうですね。指標として正確な数値とするのは難しいと思います。

<部会長>

数値の把握が難しいものであれば入れないほうがいいと思います。

<事務局>

他の指標と同じで、環境概要では引き続き報告するという形で整理します。

<部会長>

市民が働きかけて数値が上がるのか下がるのかということは簡単には計れないと思います。

モニタリングというのは結局、参考資料としてデータは載せておくということですね。

<事務局>

そうですね。ゲンジボタルの関係指標と同様に整理したいと思います。

<部会長>

重点プロジェクトと環境目標の並べ方ですが、案の61ページは、11ページの並べ方を踏襲していると思うのですが、重点目標1・2・3と、環境目標1・2・3は、大体対応していると思います。

環境目標4は、分野横断的なので、下に並べたほうがいいと思います。

<事務局>

そうですね。

<部会長>

分野横断的なプロジェクトが横にあるよりも、環境目標1と重点プロジェクト1という感じで、対応させると分かりやすくなると思います。

<事務局>

ありがとうございます。検討してみます。そのほうが分かりやすいですし、こちらの意図が伝わりやすいと思います。

<部会長>

レイアウト修正があってもいいと思います。

他いかがでしょうか。

<委員>

進行管理指標見直し資料の表についてお伺いします。

一般廃棄物処理基本計画を踏まえて見直しされているということですが、一人一日あたりのごみ排出量の目標値を見直して、数字を上げていますが、これは、排出量の推移をみて、実際に達成可能な目標として設定されたということでしょうか

<事務局>

そうですね。

<委員>

表1番下の、埋立処分量について。今までは、埋立処分率、であったものが今回、1人当たりの処分量になっていますが、どういう考えで変更されたのでしょうか。

<事務局>

埋立率になりますと、人口の増減といったものもありますので、山口市においては、ある程度人口も一定程度維持が出来ている状態です。そういう中で、やはり、一人一人が市民、事業者として一体となって取り組む中で、実際に減らしていくというものをしっかり、1人当たりの埋立て量で見たほうが、分かりやすいというところで一般廃棄物処理基本計画のほうで整理されています。

<委員>

1人当たりの量というのは、例えば、県内の自治体とか全国的な状況との比較っていうのができるのでしょうか。

<事務局>

30ページを御覧ください。

1人当たりの埋立量が17.1kgで、全国平均や、山口県平均よりは少ない状況でございます。これをいかに減らして、最終処分場への埋立ても減らしていくというようなところが今後課題になります。

少ないとはいえ17.1kg、でているというところもあるので、こちらを13.6kgまでには減らしていきたいということです。

<委員>

次のページの、地球温暖化に関すること。

指標の二酸化炭素排出量について。目標値がかなり細かい数値になっていますが、ここまで細かい数字というのは違和感があります。目標値なので、もう少し分かりやすく示すといいのではないのでしょうか。

<事務局>

そうですね、検討させていただきます。

基準値がありまして令和9年に、41.5%削減、2030年度には48%削減というのがありますので、単純に計算した数値を目標値にしています。

見せ方については検討してみたいと思います。ここまで細かくいくかどうかも含めて、担当とも検討していきたい。

ここで、ちょっとつけ加えですが、現在国においては2030年度には46%

削減をといるところがあります。そういう中で、山口市としては、2030年において、脱炭素先行地域に選定されて、そこについては、カーボンニュートラルを目指すという中で、そういった取組をしっかりとっていくということで、国の目標の46%から2%上積みをするというような形で、高めの目標にしております。

それに向けて、2027年度においては45%の削減ということにしております。

<事務局>

関連して補足になりますが、環境基本計画にあるのが、36ページ、37ページで、41.5%から48%と、目標設定しております。平成30年、2018年度になっておりますが、今時点最新数値がこちらになっております。

今年度中には令和元年度、2019年度の数字を整理しております、最終的に、3月までにお示しする中では2019年度現状値として、可能な限り新しい数値ということで変更したいと思いますので、事務局のほうで変えさせていただいて、またお示しさせていただきたいと考えております。

<部会長>

先ほどのごみの減量の話で、基本計画30ページのところについて質問があります。

本市の令和3年度の1人当たりの埋立処分量17.1kgで増えてるというふうに書いてありますよね。平成28年度と比較して。「全国平均及び山口県平均よりは少ない状況ですが、減少させていく必要があります。」と書いたほうがいいのではないかと思います。

この文章のままだと増えたけどまだ大丈夫というふうに見えるので。そうではなくて、本当は増えているから減らさないといけないという流れにしたほうがいいと思います。

33ページあたりに用語が並んでいる、ゼロカーボンシティ宣言とか。ここに脱炭素先行地域も入れて、用語説明しつつ、山口市も選ばれましたというふうに入れておくのもいいと思います。脱炭素先行地域に選ばれたということは、ゼロカーボンシティ宣言並みのインパクトがあると思います。市民が見て、こういう話だったのかと分かるような形で。

<委員>

64、65ページ、重点プロジェクト3のところ。温暖化対策の一番中心になるところだと思うのですが、3-1が脱炭素先行地域の関係で、3-2が再生可能エネルギーの関係になっております。3-1は脱炭素先行地域に選定されて、頑張っていくというところで、分かるのですが、3-2は意識啓発で終わってますよね。

本当に、2030年、48%削減出来ますかというところなんです。これをしたら48%削減出来ますよということをしっかり、訴えないと、意識啓発だけで48%はちょっと難しいかなと思います。

<部会長>

環境目標2のほうで、食品ロスの話のときは、意識している人から、取り組んでいる行動のほうにレベルアップしていますので、同じように、意識しているから行動促進の経緯があるのかなと思います。

<委員>

山口市として再生可能エネルギーの普及を進めますというところをしっかり書いたほうがいいのかという気がします。意識啓発だけでは、皆さん、頑張っただけという話になってしまって、いわゆる他人事になってしまう感じがするので。

<事務局>

そうですね、確かに、どうしても市ができることと言ったら、意識啓発といったところが中心になっていたりして、市民とか事業者と一緒に取り組んでいただけかというところはあると思うので、文言として、「啓発」よりは、あんまり変わらないかもしれないのですが、「普及啓発」という言い方をしながら、具体的に、市民や利用者の皆様が取り組めるように、実際の行動につなげられるように、といったいい方を検討したいと思います。

<委員>

簡単にいうと再生可能エネルギーの、普及に向けた施策を進めます。ということが書かれているのかなというところで、そのためには、何らかの施策を打たないといけないということでもありますが。

<事務局>

そうですね。普及啓発と言いながら、どうしてもこういったことに取り組んでいきますみたいな、もうちょっと言ったほうがいいのかもかもしれません。

環境目標3のところである程度、市の取組というところを置いておるつもりですが、プロジェクトとしては他のバランスとして、環境学習的なところで盛り込んでいるところもあるので、もう少し委員さんがおっしゃられたような形で、検討してみたと思います。

<委員>

脱炭素先行地域に選ばれたということを知って、すごいなと思いつつ、よく分かっていない。それがすごいということが、いろいろな会議に出て知ることが出

来ているので、市民の方は本当に知らないと思います。

例えば、今回市が申請されて、それを見て選ばれたわけだから、何を訴えて選ばれたのかということを知りたいと思います。私達、市民にも共有してほしいというのが思ったのと、あと、啓発や広報の点で、今朝ここまで来るときに、選ぶーがラッピングされたごみ収集車が横に停まったので、見たのですが、選ぶーのイラストがごみ収集車と全然関係ないようなものでした。そうではなくて、例えばごみ収集車は子どもが見たときに、「分別」とか、目で見てわかるように、それに合わせたものがないと思いました。ごみ収集車だと思って、ごみ収集車にラッピングされている文言を読んでも、全然ピンとこなかったんですね。ピンポイントで、市民に分かりやすい、それを見たら、分別収集車だ。しっかり分別しないといけないな。とか、何かそういうのが、直結するような感じで、もっと広報の仕方というもので市民に定着したらいいなと思いました。

<事務局>

実は、今回、11月1日に脱炭素先行地域に選ばれて、市民の皆様にも、いかに知ってもらうかということは今後の課題であって、市民の方に知ってもらって、取り組んでいただくことが重要だと考えております。

先行地域自体も、中心市街地を中心とするエリアとして、いかに広がりを見せていくかというのは大事なことであって、中心市街地には当然、いろんな人来てもらいたい、脱炭素だけを目指すのではなくて、中心市街地の活性化にも結びつくようなことをやっていきたいと思っています。

広報もしっかりやっていきたいなと思っています。それから、重点プロジェクトの中にも、今回、先行地域に選ばれたということも含めて、広報して、中心市街地に来てもらう取組をしっかり進めて、取組に結びつくような形で考えたいなと思います。

<部会長>

委員さんの言われるところは、環境目標4-1の環境学習の話になってくるのかなと思います。

横断的なところになってくると思います。あと先ほど私が言った脱炭素先行地域とは重点プロジェクト3の64ページに書いてありますね。最初のほうに記載して、具体的な取組を後ろに載せるものいいかなと思いますが、そちらは事務局にお任せします。

<事務局>

確かに、今回選定されたというところを、最初に出てくるときに見せたほうがいいのかと思います。

<部会長>

分散して記載してもいいと思いますので。

<事務局>

そうですね。ありがとうございます。

<部会長>

環境目標3のところは何も出てこない、つながりが分からないということがあります。

<事務局>

はい、ありがとうございます。

<委員>

10ページの、市の目指す環境像というところなのですが、ここはあまり変えられないのでしょうか。

<事務局>

ここは当初のものを踏襲しています。今回は、このままで、中間見直しという視点ですので変えておりません。

<委員>

目指す環境像が、なかなかイメージできないなと思っていて、何かもう少し具体的に書かないと本当はいけないと思います。ただ今回変更できないということですね。

<事務局>

そうですね。申し訳ありません。

<委員>

もう少し何か具体的なことを、しっかりと踏み込むような形にしないと、目指すところというのが、ぼやっとしたままな気がします。

<部会長>

具体的なところをもっと強化していったほうがいいですね。

<委員>

湯田温泉パークに関わるところの取組内容、具体的なところを入れることは難

しいですか。

<事務局>

環境基本計画のほうでは細かく入れてしまうと、どんどん中身が厚くなってしまふので。

<委員>

具体的に温泉熱とか、こういったことをしますよというのを入れることで市民にもわかりやすくなると思いますが。

<事務局>

主なところは観光施策ということで、環境施策についてはその一部分ですし、環境基本計画に入れ込むと他とのギャップが出てくるので、あえてこちらには具体的に書かないようにしています。

<委員>

一般市民からすると、脱炭素先行地域に選定されましたと言うと、何か、過去の実績で選ばれたような、よくある表彰とかのように。でも今回の場合はそうではないので、何が選ばれたかとか、その辺の違いをはっきりさせないと、市民からしたら「すごいね」で終わってしまって、自分はもう何をしないというか。そうではなくて、今、選ばれたことがスタートであって、これから私達がやっていかないといけないというのは、分かるような示し方をしてほしいと思います。そうすることで、教育の現場だとかいろんな地域の現場で、動きもあるかもしれないので、その辺の誤解がないようにお願いします。

<事務局>

どういった取組をして、例えば、施設だけを改修してであるとか、今回脱炭素先行地域の取組が評価いただいたことはそれも当然ありますし、例えば、市民ファンドをつくったりとか、中心商店街に使えるようなエコポイントを今後つくっていくであるとか、そういったところも評価していただいているので、ここには詳しいところは書けなくても、しっかりと広報していくということは重要だと思っています。市役所が勝手にやっていると思われるのは本意ではないので、しっかり、一緒になって、市だけではなくて、県内他県に向けて広報というかアピールできるような取組をしていきたいと思っていますし、やっていかなければいけないと思っています。

<委員>

一緒にやるんだよということですよ。

<事務局>

その通りです。

<部会長>

ほかにもまだ御意見あると思いますが、時間の制限もあるので、進ませさせていただきます。

(2) 山口市環境基本計画中間見直しに係る答申(案)についてということで、今議論してる内容と関係があるのですが、答申案を事務局につくっていただいております。事務局からこちらの説明をしていただいて、先ほどの話も含めながら、議論させていただきます。

<事務局>

資料に基づき説明

<部会長>

私が見たところ、カバーしていると思うのですが、ここの議論で強調すべき点や反映すべきとことがありましたら御意見いただければと思っております。

基本的にこういうのは、細かいことは書けないというところがあるので、カバーされているかどうかというところが重要だと思います。

脱炭素先行地域の文言は、要るか要らないかなというところだと思います。入れ方として難しいところがあると思いますが、重点プロジェクトのほうでも具体的にはっきり出てますので、諮問2のところにも入れればよいと思うのですが、いかがですか？作文がちょっと難しいかと思いますが、諮問1のほうはゼロカーボンシティ宣言が明確になっていますので。諮問2のほうは具体的なプロジェクトをどうするかということで、脱炭素先行地域の話を入れるといいかと思いますが、難しいでしょうか？

<事務局>

そうですね、どうしても脱炭素先行地域のエリアが中心市街地のところになってしまうので、環境基本計画では全市的にというところがあるので、あえて取っています。ただ、先行地域をモデルとし、など、文言については検討してみたいと思います。やはり、脱炭素先行地域だけをやることが目的ではなくて、それをいかに、地域還元するか、市内全域に広げていく足がかりにしたいというのはあるので答申としては除いています。

当然、今度の審議会の皆さんの意見も踏まえないといけないと思っています。

<部会長>

今のお言葉ですが足がかりにというのは、ありだと思えます。

<事務局>

脱炭素先行地域に向けた取組の強化みたいところで、検討させていただきます。

<委員>

横断的、いろいろな部署と一緒にというところで環境政策のみならず、「防災・減災」として、トップ項目にしてるんだとびっくりしたのですが、防災・減災よりも例えば教育とかは要らないのかなというところと、防災・減災はひとつどちらかでもいいのかなと思えます。福祉とか他にもいろいろあるのではないかなと思えます。教育はいるかなと思えました。

<部会長>

あともう少し見ていただいて後ほどまた付け加えていただければと思えますが、答申案は一応こういう形で、御意見を踏まえて、会議後に気がついた点等ありましたら、事務局に言っていただければと思えます。

次の審議会でも変更があるかもしれませんが、とりあえずはこれで仮置きということで審議はここで終わらせていただきたいと思えます。

次は、スケジュールということで、事務局お願いします。

<事務局>

資料を御覧ください。

策定部会としては、今回、第4回目で最後となります。

今までいただいた意見を踏まえて、修正をかけていきたいと考えてます。

これまでもいろいろな御意見いただく中で、なかなか全てを反映しきれてないところがあるとは思いますが、皆様の御意見を概ね反映出来たものと考えております。

今後のスケジュールですが、12月下旬または1月上旬としておりますが、審議会を1月の中旬にやりたいと考えてます。現在日程調整中のごさいます、こちらについてはまた、福代部会長さんと樋口委員さんに御出席をいただきたいと思えます。

また、1月26日に、市長へ答申をしていただきます。

浮田会長さんと、福代部会長さんに答申をしていただく流れにしております。

その後、2月に市議会への説明、パブリックコメントを実施しまして、最終的には3月に計画策定及び公表というような流れになっております。以上です。

<部会長>

はい、ありがとうございました。

ということで、本日環境基本計画(案)と、答申案を審議しましたけれど、この2つが環境審議会で審議をされまして、1月26日に市長さんに報告という形になります。ですので、環境基本計画自体についてはここがメインで審議を行う場ですので、今日のみならず、次の審議会までにお気づきがありましたら御意見をいただきたいと思います。

今の時点で、お気づきの点がありましたら、ちょっと時間ありますのでいかがでしょうか。

<委員>

環境審議会のほうでは、E S Dについては結構御意見が出たのでしょうか。

<事務局>

そうですね。確かにE S Dというのが、大切ではあろうかなとは思っております。

<部会長>

今日は時間がないのですが、環境目標4について皆さん持ち帰っていただいて、追加で何かありましたら、事務局に届けていただくということをお願いしたいと思います。

<委員>

最後に、E S Dは載せてありますが、S D G sについては最初のところと、3ページのところに少し書いてあるのですが、この後は全く出てこない。そのあたりの書きぶりというか、どういうふうに入れるのか入れないのかということも含めてですが、小学生とか中学生は、S D G sを学校でやっているのです、そういう言葉を入れておいたほうが、興味を持ちやすい部分もあるのかなというふうには思います。

<部会長>

S D G sの言葉を全部に書く必要はないですが、散りばめておくことで興味を持たせるという手もあると思います。

答申案のバランスは気を付けないといけないですが、環境目標4にももう少し盛り込めるかなと思います。

V 2 Hのこともありますが、どこかに用語説明のようなものがあるのでしょうか。

<事務局>

最終校正で、語句説明等入れていくこととしております。

4-1のところは、ESDというよりは、SDGsを意識した環境教育=ESDのほうがいいですね。

<部会長>

ESDを意識した環境教育ではおかしいですね。環境教育がESDですからね。

<委員>

そうすると4-1のところにSDGsを入れこまないといけない。

<事務局>

そうですね。そうしないとここに何も無いということになりますので。

<部会長>

SDGsを意識した教育の一つとして、ESDがありますから、上下関係でいうとSDGsを最初に持ってきたほうがいいですね。

<事務局>

そうですね。ちょっとそのあたりについて検討してみます。

基本的方向性のところで、ある程度SDGsについても入れる方向で考えたいと思います。

学校教育において、SDGsについてはしっかりやっただいているので、学校教育とも連携を図りながらという形で、ここに書き込みたいなと思います。

ありがとうございます。

<委員>

SDGsを答申案の中にも、文言として示すのであれば、むしろ諮問1のほうがかなと思います。

諮問2というのは重点プロジェクトについての記述になっておりまして、環境教育、環境学習というのは、環境目標4で全体的にかかってくるもので、諮問1も重点的に取り組むべき環境施策に直接かかわるものなので、諮問1に示すほうがしっくりくるのかなと思います。

諮問2にも重点プロジェクトに関するものをまた作らないといけないですが、作らなくてももう少しSDGsとか脱炭素先行地域の内容を盛り込むとかでもいいかもしれませんが。

<事務局>

思いとしては、重点プロジェクトのところで、3つあって、環境教育について

は、分野横断的にというところに入れております。今のオーダーに対して言うと、先ほど言った諮問1のところ、教育のところをもう少し付け加えるような形にして、具体的な取組というところは、個別に設定されているので、教育等で結びつけないとなかなかちょっと厳しいかなと思っております。

ただ、おっしゃったように、1のところ、SDGsというか、教育などのという文言を入れるかというところは検討してみます。

<委員>

そういうことであれば、福祉も入れてください。

<部会長>

今の答申案のところは事務局のほうで再度整理した案を作成してもらって、それをベースに、御意見を伺うメール審議という形をとらせていただければと思います。

あと、基本計画についても、修正した案を作成して、メール等で回覧していただければと思います。環境審議会で審議して確定するまでは、それをたたき台としていろいろ検討したほうがいいと思います。

<事務局>

答申案については、教育、福祉といった文言を加えることにして、重点プロジェクトの具体的な取組のところについては、脱炭素先行地域について記載します。SDGsの関係については整理をさせてもらいたいと思います。

環境基本計画（案）については、今日いただいた意見を踏まえて修正を加え、特に環境目標4のところは、SDGsの文言を追加するような形で考えます。

また、環境目標3のところ、脱炭素先行地域について、ここに記載を加えます。

ゼロカーボンシティプロジェクトのところについては、意識啓発というよりも、もっと取り組んでいただけるようにというところを記載の仕方について、もう一度見直しを図っていきたいと思います。

<部会長>

それでは一通り議論させていただきましたので、その他、事務局から何かありましたらよろしく願いいたします。

<事務局>

【事務連絡】

	<p><部会長> 【挨拶】</p> <p><環境政策課長> 【挨拶】</p> <p>閉会</p>
<p>会議資料</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 令和4年度第4回山口市環境基本計画策定部会 次第 ・ 環境基本策定部会席次表 ・ 山口市環境基本計画中間見直し（案） ・ 山口市環境審議会への環境基本計画策定部会からの中間報告 ・ 山口市環境基本計画進行管理指標見直し資料 ・ 山口市環境審議会委員からの意見一覧表 ・ 山口市環境基本計画中間見直しに係る答申（案） ・ 山口市環境基本計画策定スケジュール
<p>問い合わせ先</p>	<p>環境部 環境政策課 総務担当 TEL 083-941-2175</p>